

平成27年度 学校法人新潟総合学院 伝統文化と環境福祉の専門学校
介護職員初任者研修課程（通学制） 「介護員養成科（佐渡）」
情報開示

1. 法人格・法人名称・住所

学校法人 新潟総合学院（新潟県新潟市中央区東堀通一番町 494-3）

2. 代表者名、研修事業担当理事

代表（理事長）池田祥護

研修担当理事（常務理事）川崎千春

3. 事業所名称・住所

伝統文化と環境福祉の専門学校（新潟県佐渡市千種丙 202 番地 1）

4. 理念

「教育を通して、自然と人と文化が共生する魅力ある佐渡の創造に寄与する」

5. 学則

（事業者の名称・所在地）

第1条 本研修は、次の事業者が次の事業所において実施する。

事業者 学校法人 新潟総合学院
新潟市中央区東堀通一番町 494 番地 3
事業所 伝統文化と環境福祉の専門学校
佐渡市千種丙 202 番地 1

（目的）

第2条 佐渡市の高齢者人口の増加ならびに高度化・多様化する介護ニーズに対応したサービスを提供するために、専門的な知識・技術と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成し、地域社会における福祉の増進に寄与することを目的とする。

（形式）

第3条 前条の目的を達成するために、次の研修事業（以下研修という。）を通学形式で実施する。

（研修事業の名称）

第4条 研修の名称は次のとおりとする。
介護員養成科（佐渡）

（年間事業計画）

第5条 平成27年度の研修は、下表の計画のとおり実施する。

回数	実施時期	募集定員
第1回	平成27年8月～10月	20名

（受講対象者）

第6条 受講対象者は次の者とする。
離職中の者で新潟県新潟テクノスクールが適当と認めた者。

（研修参加費用）

第7条 研修参加費用は次のとおりとする。

回数	内訳	金額
第1回	受講料	無料
	テキスト	5,400円（税込）

（使用教材）

第8条 研修に使用する教材は次のとおりとする。
介護職員初任者研修テキスト
中央法規出版 発行

（研修カリキュラム）

第9条 研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは、別表1のとおりとする。

(研修会場)

第 10 条 前条の研修において使用する講義会場及び演習会場は、別表 2 のとおりとする。

(担当講師)

第 11 条 研修を担当する講師は、別表 3 のとおりとする。

(実習施設)

第 12 条 実習は別表 4 の施設において実施する。

(募集手続き)

第 13 条 ①受講希望者は所定の申込書に必要事項を記載の上、期日までに申し込む。

第 13 条 ②選考試験を実施する。

第 13 条 ③試験結果に基づき受講者を決定する。

第 13 条 ④受講決定者には受講決定通知を送付する。

⑤入校式にテキスト代金を徴収する。

(受講者の本人確認)

第 14 条 受講者の本人確認は、受講申込時又は入校式に運転免許証、住民票、戸籍謄本又は戸籍抄本、パスポート、健康保険証、在留カードの何れかの公的証明書の原本で、氏名と受講申込書氏名が同一であることを確認する。

(科目免除)

第 15 条 科目免除は行わない。

(修了の認定)

第 16 条

(1) 修了の認定は、第 9 条に定めるカリキュラムを全て履修し、「9 こころとからだのしくみと生活支援技術」科目における生活支援技術の習得状況の確認において介護技術の習得が講師によって評価され、かつ、修了評価の結果が事業者の定める水準をこえるものであることが事業者において確認された受講者に対し行う。

(2) 修了評価は、第 9 条に定める全てのカリキュラムの履修後、筆記試験により行うこととする。

なお、当該筆記試験については、100 点を満点評価とし、理解度の高い順に A・B・C・D の区分で評価し、C 以上で修了時に到達すべき水準に達したものを(合格)と認定する。

A: 90 点以上 B: 89~80 点 C: 79~70 点 D: 69 点以下

(3) 合格に達しなかった受講者については、再試験の受験前に指導を受け無料で 2 回まで受験することができる。3 回目の試験は実施しない。

(研修欠席者の扱い)

第 17 条 理由のいかんに関わらず、研修開始から 5 分以上遅刻した場合は欠席とする。また、やむを得ない理由で欠席する場合は、速やかに「欠席届」を提出する。

(補講について)

第 18 条 研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、講義・演習総時間数の 1 割を上限とし、また実習は 1 施設を上限として補講を行なうことにより当該科目を修了したものとみなす。

なお、補講にかかる受講料は講義・演習科目 1 時間につき 5,000 円、実習科目 1 日 4,500 円を受講者が負担することとする。

(受講の取消)

第 19 条 事業者は次に該当する者の、受講を取り消すことができる。

(1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者

(2) 研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した者

(修了証明書の交付)

第 20 条 第 16 条により修了を認定された者に対し、新潟県新潟テクノスクールにおいて新潟県介護員養成研修事業実施要綱 11 に規定する修了証明書を交付する。

(修了者名簿の管理方法)

第 21 条

(1) 修了者は修了者台帳に記載し、新潟県が指定した様式により新潟県知事に報告する。

(2) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により新潟県新潟テクノスクールが再発行する。

(研修事業実施部署)

第 22 条 研修事業は、伝統文化と環境福祉の専門学校 介護福祉学科で行なう。

(施行細則)

第 23 条 この学則に必要な細則並びに、この学則に定めない事項で必要があると認められる時は、伝統文化と環境福祉の専門学校においてこれを定める。

(附則)

1. この学則は、平成 27 年 6 月 29 日から施行する。

6. 研修施設、設備

(別表 2)

区分	会場名 (教室名)	所在地	定員 (名)	広さ (㎡)	設備
講義会場	介護研修室	佐渡市千種丙 202 番地 1	20	64.00	机、椅子
実技演習 実施会場	入浴実習室	佐渡市千種丙 202 番地 1	20	90.04	家庭浴槽、特殊浴槽、簡易浴槽(硬質)、 簡易浴槽(軟質)、ストレッチャー2 台バ スチェア2 台、椅子40 台
	介護実習室	佐渡市千種丙 202 番地 1	20	93.92	介護用ベット8 台、差込便器10 台、尿器 16 個、ポータブルトイレ8 個、車椅子8 台杖・松葉杖・ロフトスタンドクラッチ・ 多点杖・盲人安全杖各 2 本実習用モデル 人形2 体、人体(解剖・骨格)、模型各 1 体、人工呼吸訓練人形1 体ストレッチャ ー2 台、障害者用調理器具10 点
	PC ルーム	佐渡市千種丙 202 番地 1	20	128.00	PC22 台

7. 対象

求職者で介護職に関心のある方

8. 研修のスケジュール(期間、日程、時間数)

平成 27 年 8 月 20 日(木)～10 月 19 日(月)

研修日	研修時間	時間数	科目の細目
8 月 20 日(木)	9:00～10:00	1	入校式
	10:10～12:20	2	多様なサービスの理解
	13:20～14:20	1	情報リテラシー
8 月 21 日(金)	9:00～15:30	5	介護職の仕事内容や働く現場の理解①
	15:40～16:40	1	情報リテラシー
8 月 24 日(月)	9:00～15:30	5	介護職の仕事内容や働く現場の理解②
	15:40～16:40	1	情報リテラシー
8 月 25 日(火)	9:00～11:10	2	就職指導
	11:20～14:20	2	人権と尊厳を支える介護①
	14:30～16:40	2	情報リテラシー
8 月 26 日(水)	9:00～14:20	4	人権と尊厳を支える介護②
	14:30～16:40	2	情報リテラシー
8 月 27 日(木)	9:00～14:20	4	自立に向けた介護
	14:30～16:40	2	情報リテラシー
8 月 28 日(金)	9:00～11:10	2	介護職の役割、専門性と多職種との連携
	11:20～14:20	2	介護職の職業倫理
	14:30～16:40	2	情報リテラシー
8 月 31 日(月)	9:00～12:20	3	就職指導
	13:20～14:20	1	介護における安全確保
	14:30～15:30	1	介護職の心身の健康管理
	15:40～16:40	1	介護保険制度①
9 月 1 日(火)	9:00～12:20	3	介護保険制度②
	13:20～15:30	2	医療との連携とリハビリテーション①

	15:40~16:40	1	情報リテラシー
9月2日(水)	9:00~12:20	3	医療との連携とリハビリテーション②
	13:20~15:30	2	情報リテラシー
	15:40~16:40	1	ビジネスマナー
9月3日(木)	9:00~12:20	3	介護におけるコミュニケーション①
	13:20~16:40	3	介護におけるコミュニケーション②
9月4日(金)	9:00~11:10	2	介護におけるチームコミュニケーション
	11:20~14:20	2	情報リテラシー
	15:40~16:40	2	ビジネスマナー
9月7日(月)	9:00~12:20	3	老化に伴うこころとからだの理解
	13:20~16:40	3	高齢者と健康
9月8日(火)	9:00~11:10	2	認知症を取り巻く状況
	11:20~14:20	2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理①
	14:30~16:40	2	情報リテラシー
9月9日(水)	9:00~11:10	2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理②
	11:20~16:40	4	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活
9月10日(木)	9:00~12:20	3	就職指導
	13:20~15:30	2	家族支援
	15:40~16:40	1	情報リテラシー
9月14日(月)	9:00~10:00	1	障害の基礎的知識
	10:10~15:30	4	障害の医学的側面から見た基礎知識
	15:40~16:40	1	家族の心理 関わり支援の理解
9月15日(火)	9:00~14:20	4	介護の基本的な考え方①
	14:30~16:40	2	情報リテラシー
9月16日(水)	9:00~14:20	4	介護に関するこころのしくみ
	14:30~16:40	2	ビジネスマナー
9月17日(木)	9:00~11:10	2	介護の基本的な考え方②
	11:20~16:40	4	介護に関するからだのしくみ
9月24日(木)	9:00~16:40	6	生活と家事
9月25日(金)	9:00~16:40	6	快適な住居環境整備と介護
9月26日(土)	9:00~12:20	3	情報リテラシー
	13:20~16:40	3	ビジネスマナー
9月28日(月)	9:00~11:10	2	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護(講義)
	11:20~16:40	4	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護(実技演習)
9月29日(火)	9:00~11:10	2	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護①講義
	11:20~16:40	4	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習
9月30日(水)	9:00~10:00	1	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護③講義
	10:10~16:40	5	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護④実技演習
10月1日(木)	9:00~11:10	2	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護①講義
	11:20~16:40	4	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習

10月2日(金)	9:00~11:10	2	入浴・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①講義
	11:20~16:40	4	入浴・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習
10月3日(土)	9:00~10:00	1	入浴・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護③講義
	10:10~16:40	5	入浴・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護④実技演習
10月5日(月)	9:00~11:10	2	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①講義
	11:20~16:40	4	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習
10月6日(火)	9:00~10:00	1	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護③講義
	10:10~16:40	5	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護④実技演習
10月7日(水)	9:00~12:20	3	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①講義
	13:20~16:40	3	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習
10月8日(木)	9:00~16:40	6	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと介護
10月9日(金)	9:00~11:10	2	ビジネスマナー
	11:20~16:40	4	普通救命講習Ⅱ
10月13日(火)	9:00~16:40	6	介護過程の基礎的理解
10月14日(水)	9:00~16:40	6	総合生活支援技術演習
10月15日(木)	9:00~11:10	2	人権と尊厳を支える介護③介護実習
10月15日(木)	11:20~16:40	4	介護におけるコミュニケーション③介護実習
10月16日(金)	9:00~14:20	4	ビジネスマナー
	14:30~16:30	2	振り返り
10月19日(月)	9:00~11:10	2	就業に備えてと研修終了後における継続研修
	11:20~12:20	1	修了評価
	13:20~14:20	1	修了式

9. 定員と指導者数

20名(指導者数:介護職員初任者研修課程10名)

10. 研修受講までの流れ(募集、申込み)

- ①受講希望者は所定の申込書に必要事項を記載の上、期日までに申し込む。
- ②選考試験を実施する。
- ③試験結果に基づき受講者を決定する。
- ④受講決定者には受講決定通知を送付する。

11. 費用

受講料 無料 (教材費5,400円、職業訓練生総合保険1,950円は自己負担)

12. 留意事項、特徴

新潟県介護職員初任者研修課程修了証明書の外に「普通救命講習Ⅱ修了証」取得、パソコンの基本技術習得。

13. 課程編成責任者名

伝統文化と環境福祉の専門学校 介護福祉学科長 橋本 瑞江

14. 科目別シラバス

(別表1)

科目の内容等		
科目の細目	時間	実施方法
1 職務の理解(12時間)		
多様なサービスの理解	2	介護保険の各サービス、保険外サービスの概要を講義形式で説明する

介護職の仕事内容や働く現場の理解	10	視聴覚教材を用い、各サービス事業所・介護保険施設の仕事内容の紹介。ワークシートの活用
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (12時間)		
人権と尊厳を支える介護	8	人権及び尊厳についての基本的な考え方について説明。視聴覚教材を使用し、教材を元に感想を述べ合う。各種制度の説明、介護実習
自立に向けた介護	4	自立支援及び介護予防の考え方について視聴覚教材、ワークシートを活用し、自立に向けた介護について考える
3 介護の基本 (6時間)		
介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	介護の専門性とは何か、専門性について講義形式で説明。多職種協働連携については、視聴覚教材やワークシートを活用
介護職の職業倫理	2	介護職としての社会的責任や姿勢について講義・グループワークを通して学ぶ
介護における安全の確保	1	介護におけるヒヤリ・ハット、リスクマネジメントの重要な要素を講義、事例検討を通して学ぶ
介護職の心身の健康管理	1	介護職の腰痛、ストレスと心身の健康管理法を講義、視聴覚教材をとおして説明する
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)		
介護保険制度	4	介護保険の導入の社会的背景、成立、導入後の動向、課題点など講義・演習(グループ討議)発表を通して学ぶ
医療との連携とリハビリテーション	5	高齢者の医療の意義と役割、リハビリテーション医療の意義等を講義・演習(グループ討議)を通して学ぶ
5 介護におけるコミュニケーション技術 (12時間)		
介護におけるコミュニケーション	10	コミュニケーションの基礎要素コミュニケーションの目的と方法、手段と技法を講義、ロールプレイング方式で学び、実践(介護実習)
介護におけるチームコミュニケーション	2	多職種協働連携について講義、視聴覚教材を使用し説明。記録、報告連絡相談の共有化等についてワークシートを活用
6 老化の理解 (6時間)		
老化に伴うこころとからだの理解	3	老年期の発達と心身の変化の特徴、心身機能の変化と日常生活への影響について、講義・演習(グループ発表)を通して学ぶ
高齢者と健康	3	高齢者の疾病と生活上の留意点について講義・演習(グループ発表)を通して学ぶ
7 認知症の理解 (12時間)		
認知症を取り巻く状況	2	認知症ケアの理念について講義・演習を通して学ぶ
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	4	認知症の概念と原因疾患・病態、原因別疾患別ケアのポイントと健康管理について講義・演習(事例検討・グループ発表)を通して学ぶ
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	4	生活障害、心理、行動の特徴、利用者の対応について講義・演習(事例検討・グループ発表)を通して学ぶ
家族支援	2	家族との関わり方(視聴覚教材使用)について講義・演習(事例検討・グループ討議)を通して学ぶ
8 障害の理解 (6時間)		
障害の基礎的知識	1	障害の概念とICFについて講義・演習(事例検討・グループ討議)を通して学ぶ
障害の医学的側面から見た基礎知識	4	それぞれ、身体障害、知的障害、精神障害等について講義・演習を通して学ぶ(視聴覚教材併用)
家族の心理 関わり支援の理解	1	家族との関わり方(視聴覚教材使用)について講義・演習(グループ討議)を通して学ぶ
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (98時間)		
■ 基本知識の学習 14時間		
介護の基本的な考え方	6	介護の基本的な考え方について、講義・演習(ロールプレイング)を通して学ぶ
介護に関するこころのしくみ	4	学習と記憶に関する基礎知識、感情と意欲に関する基礎知識、自己概念と生き甲斐、老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因について、講義形式で説明(視聴覚教材併用)
介護に関するからだのしくみ	4	健康チェック、人間の解剖生理について、講義形式で説明
■ 生活支援技術の学習 72時間		
生活と家事	6	人の暮らし(生活の捉え方、衣食住の環境整備)について講義形式で説明する
快適な住居環境整備と介護	6	人と住まい、高齢者に必要な住まいの性能について福祉用具などを実際に使用し講義を取り入れながら説明する
整容に関連したこころとからだのしくみ	6	2時間は介護技術に関する講義を行い、残り4時間で実技演習を行う。

と自立に向けた介護		(実技演習は講師が示す事例に基づいて実施)
移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	12	3時間は介護技術に関する講義を行い、残り9時間で実技演習を行う。(実技演習は講師が示す事例に基づいて実施)
食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	2時間は介護技術に関する講義を行い、残り4時間で実技演習を行う(実技演習は講師が示す事例に基づいて実施)
入浴・清潔に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	12	3時間は介護技術に関する講義を行い、残り9時間で実技演習を行う。(実技演習は講師が示す事例に基づいて実施)
排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	12	3時間は介護技術に関する講義を行い、残り9時間で実技演習を行う。(実技演習は講師が示す事例に基づいて実施)
睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	3時間は介護技術に関する講義を行い、残り3時間で実技演習を行う。(実技演習は講師が示す事例に基づいて実施)
死にゆく人に関連したところとからだのしくみと介護	6	視聴覚教材を用い、テキストを併用し介護従事者に必要な知識を説明する
■ 生活支援技術演習 12時間		
介護過程の基礎的理解	6	介護過程の展開に必要な構成要素、科学的思考について講義、ワークシートを使用し説明、グループ討議
総合生活支援技術演習	6	生活支援技術を、事例をもとに確認
10 振り返り (4時間)		
振り返り	2	初任者研修を振り返り、自己課題解決に向けて考え、グループ討議、ワークシートの活用
就業に備えてと研修終了後における継続研修	2	継続研修についての説明
合計	177	時間

15.科目別担当教官名・特徴(実技内容・備品・指導体制)

(別表3)

科目名	講師名	特徴
1 職務の理解	菊池 美津枝	介護保険、保険外サービスの理解。介護職の仕事内容や各種事業所の仕事内容を学習。
2 介護における尊厳の保持・自立支援	本間 深雪	人間の尊厳と自立。介護職の専門性、介護における安全確保、介護職の心身の健康管理について講義、視聴覚教材等で学習。
3 介護の基本	菊池 美津枝	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	橋本 瑞江	介護保険制度、医療の連携とリハビリテーションについて講義、演習を通して学習。
5 介護におけるコミュニケーション技術	本間 深雪	コミュニケーションの基本、チームのコミュニケーションを講義とロールプレイング方式等学習し、実習にて、実践的に学ぶ。
6 老化の理解	菫澤 真子	老化に伴うところとからだの理解、高齢者と健康について講義・演習を通して学習。
7 認知症の理解	中川 節子	認知症のケア理念、医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理、ところとからだの変化等について、講義・演習を通して学習。
8 障害の理解	菫澤 真子	障害の基礎知識、医学的側面の基礎知識、家族理解、家族支援について講義・演習を通して学習。
9 ところとからだのしくみと生活支援技術		
基本知識の学習	金岡 恵美子	介護の基本的な考え方、介護に関するところとからだのしくみを講義・演習で学習。
	菫澤 真子	
生活支援技術の学習	橋本 瑞江	人の暮らしについて学習。整容、移動、移乗、食事、入浴、清潔、排泄、睡眠
	菊池 美津枝	

	土屋 晴夫	に関する講義・実技演習。終末期における介護等について学習。
	山下 幸也	
	原田 恭子	
	間 祥平	
	中川 節子	
生活支援技術学習	金岡 恵美子	介護過程の基礎的理解の学習。生活支援技術の事例をもとに介護技術確認。
	本間 深雪	
10 振り返り	橋本 瑞江	本件集全体を振り返り、座学、実技演習、介護実習からの自己課題の解決に向け、グループ学習を通して学び深める。

16.修了評価の方法、評価者、再履修等の基準

- 修了の認定は、第9条に定めるカリキュラムを全て履修し、「9 こころとからだのしくみと生活支援技術」科目における生活支援技術の習得状況の確認において介護技術の習得が講師によって評価され、かつ、修了評価の結果が事業者の定める水準をこえるものであることが事業者において確認された受講者に対し行う。
- 修了評価は、第9条に定める全てのカリキュラムの履修後、筆記試験により行うこととする。
なお、当該筆記試験については、100点を満点評価とし、理解度の高い順にA・B・C・Dの区分で評価し、C以上で修了時に到達すべき水準に達したもの（合格）と認定する。

A: 90点以上 B: 89～80点 C: 79～70点 D: 69点以下

- 合格に達しなかった受講者については、再試験の受験前に指導を受け無料で2回まで受験することができる。3回目の試験は実施しない。

17.協力実習機関の名称・住所・介護保険事業・実習担当者名

(別表4)

施設等での実習を実施する科目名: 介護における尊厳の保持・自立支援				
	施設等の名称	所在地	施設等の種別	実習担当者
1	両津デイサービスセンターしゃくなげ	新潟県佐渡市春日1 150番地20	通所介護事業所	菊池 忠彦
2	両津デイサービスセンターたんぼぼ	新潟県佐渡市加茂歌 代904番地1	通所介護事業所	川上 治
3	小木デイサービスセンターつくし	新潟県佐渡市小木町 1949番地2	通所介護事業所	中島 洋一
4	金井デイサービスセンターしゃくなげの里	新潟県佐渡市中興乙 2822番地1	通所介護事業所	小田 啓吉
5	新穂デイサービスセンター	新潟県佐渡市新穂大 野1816番地2	通所介護事業所	中村 正樹
6	畑野デイサービスセンターやわらぎの里	新潟県佐渡市栗野江 1837番地	通所介護事業所	土屋 義春
7	赤泊デイサービスセンターやすらぎ	新潟県佐渡市赤泊2 207番地19	通所介護事業所	本間 初枝
8	デイサービスなんだい	新潟県佐渡市畑野甲 452-6	通所介護事業所	横山 季美子
9	グループホームななうら	新潟県佐渡市橘42	認知症対応型共同生活 介護	山口 好枝
10	ささえ愛あいの山	新潟県佐渡市大和1 213番地	小規模多機能型居宅介 護	祝 日出夫
11	ささえ愛はよし	新潟県佐渡市羽吉1 198番地	小規模多機能型居宅介 護サテライト事業所	小山 翼
施設等での実習を実施する科目名: 介護におけるコミュニケーション技術				
	施設等の名称	所在地	施設等の種別	実習担当者
1	両津デイサービスセンターしゃくなげ	新潟県佐渡市春日1 150番地20	通所介護事業所	菊池 忠彦
2	両津デイサービスセンターたんぼぼ	新潟県佐渡市加茂歌 代904番地1	通所介護事業所	川上 治

3	小木デイサービスセンターつくし	新潟県佐渡市小木町 1949番地2	通所介護事業所	中島 洋一
4	金井デイサービスセンターしゃくなげの里	新潟県佐渡市中興乙 2822番地1	通所介護事業所	小田 啓吉
5	新穂デイサービスセンター	新潟県佐渡市新穂大野 1816番地2	通所介護事業所	中村 正樹
6	畑野デイサービスセンターやわらぎの里	新潟県佐渡市栗野江 1837番地	通所介護事業所	土屋 義春
7	赤泊デイサービスセンターやすらぎ	新潟県佐渡市赤泊2 207番地19	通所介護事業所	本間 初枝
8	デイサービスなんだい	新潟県佐渡市畑野甲 452-6	通所介護事業所	横山 季美子
9	グループホームななうら	新潟県佐渡市橘42	認知症対応型共同生活 介護	山口 好枝
10	ささえ愛あいの山	新潟県佐渡市大和1 213番地	小規模多機能型居宅介 護	祝 日出夫
11	ささえ愛はよし	新潟県佐渡市羽吉1 198番地	小規模多機能型居宅介 護サテライト事業所	小山 翼

18.実習プログラム内容、プログラムの特色

人権と尊厳を支える介護、介護におけるコミュニケーションを実習を中心に、各実習事業所で1日間学習します。

19.実習中の指導体制・内容(振り返り、実習指導等)

実習中、実習機関の指導者のもと、介護実習します。実習終了後は、振り返りの授業を通して介護についての理解を深めます。

20.協力実習機関における延べ人数

受入人数 102名(22施設)

21.講師情報(名前・略歴・現職・資格)

氏名	略歴	現職	資格
菊池 美津枝	介護老人保健施設すこやか両津 (H5.9~)	小規模多機能事業所ささえあいあいの山 (H26.5~)	介護福祉士 介護技術指導者
本間 深雪	特別養護老人ホーム真野の里 (H7.6~) 佐渡市立相川病院 (H21.4~) 介護老人保健施設すこやか両津 (H23.4~)	伝統文化と環境福祉の専門学校 (H26.1)	介護福祉士
橋本 瑞江	社会福祉法人 東京リハビリ協会 (H元.7~) 医療法人 愛広会 (H11.8~)	伝統文化と環境福祉の専門学校 (H20.4~)	介護福祉士 介護技術主任指導者
菰澤 真子	医療法人愛広会介護老人保健施設相川愛広苑 (H12.12~)	伝統文化と環境福祉の専門学校 (25.5~)	看護師
中川 節子	順天堂大学付属順天堂病院 (S53.4~) 佐渡総合病院 (S54.4~) 新潟県立佐渡総合高等学校 (H22.4~H25.3)	無	看護師
金岡 恵美子	特別養護老人ホーム真野の里 (S61.4~) 国際医療福祉カレッジ (H19.4~) 伝統文化と環境福祉の専門学校 (H20.4~)	小規模多機能事業所ささえあいあいの山 (H24.4~)	介護福祉士
土屋 晴夫	特別養護老人ホーム真野の里 (S63.9~) 社会福祉法人ふれあい福祉会 (H18.4~)	介護タクシーすきっぷ (H19.11~)	介護福祉士 介護技術主任指導者
原田 恭子	特別養護老人ホームやはたの里 (H11.4~)	相談支援事業所 (H25.4~)	介護福祉士
山下 幸也		特別養護老人ホーム新穂愛宕の園 (H23.4~)	介護福祉士
間 祥平		介護老人保健施設相川愛広苑 (H23.4~)	介護福祉士

22.過去の研修実施回数・延べ参加人数

研修名	期間	人数
介護福祉士養成科	H22.4.8～H24.3.5	4
介護福祉士養成科	H23.4.7～H25.3.6	6
介護福祉士養成科	H24.4.7～H25.3.6	8
介護ヘルパー養成科	H24.10.3～H24.12.21	19
介護福祉士養成科	H25.4.8～H27.3.9	4
介護福祉士養成科	H27.4.6～H28.3.31	2

23.申込み・資料請求先

新潟県立新潟テクノスクール 開発援助課（電話：025-247-7397）及びハローワーク佐渡（電話：0259-27-2248）

24.法人の苦情対応者名・役職・連絡先

学校法人 新潟総合学院 総務部 部長 本合和博

住所：新潟県新潟市中央区東堀通一番町 494-3（電話：025-210-8565）

25.事業所の苦情対応者名・役職・連絡先

伝統文化と環境福祉の専門学校 副校長 渡辺秀則

住所：新潟県佐渡市千種丙 202 番地 1（電話：0259-61-1122）